

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(134) 議事録

日 時	平成 30 年 3 月 13 日 (火) 18:30~20:35
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉、(副代表) 阿部ひで、今野義正、(事務局) 今野慎介、千葉洋子、宇佐美久夫、南部比呂志 (事務局) コンサルタント 2 名
オブザーバー	市職員 震災復興部復興区画整理課 1 名 仙台高専 1 名、新聞会社 1 社
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. 検討事項 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 133 回世話役会議事録案 資料-1 立正佼成会報告会資料等 資料-2 世話役合宿資料 資料-3 春祭り出展計画資料

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第 133 回世話役会議事録は、一部修正して確定することとした。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

- ・来年度もまち協の支援の予算が確保されたと報告があった。

<前回からの動き>

- ・入居式などがあり居住者が増加しているが、地域コミュニティはそれぞれが自主的に活動し始める可能性があるのではないかという話があった。

2. 検討事項

- ・助成金の報告会は、事務局の PR 資料と報告資料で事務局長が代表して参加していただくこととなった。
- ・世話役合宿は、検討の目的を踏まえて意見交換することとなった。
- ・春祭りでは、ポケットパークの福笑い式パズルを段取りすることとなった。

3. その他

- ・小中一貫校の通学路の問題について話し合われた。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は 3 月 27 日 (火) とする。

次回予定:世話役会(135)3/27(火)18:30~ 名取市震災復興部会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第 133 回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第 133 回世話役会議事録は、一部修正して、確定した。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

→復興交付金による来年度の協議会支援業務の予算確保ができた。その業務の中で、県道の東西での住民顔合わせ会にかかる費用も 6 回ずつ予算が確保できた。西側については、災害公営住宅の入居が進んできたので、地域コミュニティの再生に向けた活動を進めていきたい。(市)

- ・名取市主催の慰霊祭も今年は 700 人と、参加者数が減ってきたようだ。一方で、震災メモリアル公園付近の慰霊塔周辺は人が多かったとのことだ。

- ・南北線の火葬場付近の道路整備はいつごろの予定なのか？

→31 年度に完成予定である。(市)

- ・この路線ができると自転車で美田園へのアクセスが良くなると話がある。整備時期の目安がわかるといい。

<前回からの動き>

- ・事務局長と副代表及び世話役 1 名が第 2 期災害公営住宅戸建の入居式に参加した。
- ・まち協について説明をしたが、反応は薄かった。今後、お茶のみ会などでも説明は必要と感じた。災害公営住宅の入居式が今後もあれば、行政、まち協、区長、町内会などの役割などを明確にするべきだろう。

- ・入居者で早めに話し合いの場を作り、清掃活動なども含めてアクションしていくという話がある。基本的には、町内会で検討していく方向と理解している。問題が出ればまち協で吸い上げて、検討していくべきだろうと考えている。

- ・二期の戸建災害公営住宅は 25 世帯が整備されたが実際は 20 世帯入居となったらしい。当初はうまっていたが、キャンセルがあり 2 割が未入居と聞いている。今後は、随時募集となったので、集まってくるだろう。2,3 年後に一般募集していくと聞いている。

- ・公民館の新たな館長は、推薦委員会で推薦された方が就任する方向と聞いている。今後、公民館の建設など、重要な役割を担っていることから、コミュニケーションをうまくとっていきたい。

2. 検討事項

1) 立正佼成会助成金報告会について

→今回は互理で報告会が開催される。配布した報告資料を用いるとともに、当日の流れだが、2 回、団体として話しする機会がある。一つ目は報告会のスライドで説明、もうひとつは地域のプロモーション PR が目的であり、今回、事務局案を用意した。(事務局)

- ・基本的にこの資料でよい。
- ・事務局長と事務局の 2 名で参加する。

2) 世話役合宿について

→4年間の活動を振り返りつつ、2年後に事業完了を予定としていることから、それを節目にするとしていることから、それ以降のまちの維持管理について議論する場としていきたい。まち協がどうするという事までは難しいかもしれないので、取り組みを話し合うということで進めたい。先心的な事例として荒井東地区の取り組みを紹介する予定。それらを踏まえて知恵だしをお願いする。(事務局)

- ・意見交換のテーマを決めたほうがいいのでは？
- ・まち協の今後をどうするかだろう。
- ・今回で決められないだろうが、議論を進めていくことが大事だろう。
- ・簡単な言葉でテーマを設定して欲しい。
- ・エリアマネジメントとは？

→収益性を踏まえたまちの維持管理ということが軸となる。固定費をまかなう収入を得ながら、自主事業も企画し、実行することも可能となることから、荒井東などではマルシェを実施している。(事務局)

・まち協がなくなるまで、なにをやるか、人を育てるとか、まち協の取り組みを掘り下げたための話合いなのか、的を絞れないような気がする。まち協の活動を無償ですることの大変さや助成金や市の予算がなくて進められる方向があるのかどうか？費用調達なども視野に入れた、入口を議論する場と考えたい。

- ・議論の的を絞るということが必要だろう。
- ・エリアマネジメントは、今の条件だと事業区域内のみとなるが、実際はトレイルセンターなども住民との接点がない。事業区域内だけでは無理な気がする。特に、スポーツエリアまで取り組むことが必要ではないかと思う。
- ・エリアマネジメントは、ハードルが高いと感じる。
- ・荒井東のように、すぐにならないだろうから、近づくためにはどうするかを議論するんだろう。
- ・東松島の運営も事例としてはある。
- ・来年1年で追いつけることは何かという視点もある。話を聞いてから議論すればよい。

→区域内でできることから、検討していけばいいのでは？(事務局)

- ・地域コミュニティなどは、つなげていく工夫が必要と感じているので、そこを議論したい。
- ・まち協の存在価値の問題もあり、議論を進めるのはいいが、絞ったテーマが必要だろう。
- ・ハブ的な役割なども、なれるかどうか？
- ・ハブになるにはお金も必要、ずっと市の予算があるわけではない。
- ・まち協で何かを作って売るとか？
- ・単体で動いている団体などをつなげていく工夫が今必要だろう。
- ・NPO等の団体が住民団体との連携もなかなか進まない。
- ・トレイルセンターも既にNPOができてきている。住民との垣根を感じる。
- ・地域との連携不足を理事長も懸念している。住民との連携、雇用、交流の機会向上なども促進したいとの話があった。働きかけがないとしている。
- ・NPOに地域住民は入っているのか？
- ・入っていないらしい・
- ・ルートの完成まではまだ時間があるので、整備後の具体的な展開はまだという理解だった。
- ・NPOなどは、地元住民を活用をしていくため、専門家的な見地で取り組んでくれるといいのだが。

- ・施設の維持管理なども、地元の若い人の訓練にもなるので、そういう取り組みも必要だろう。
 - ・トレイルを楽しんでいる人は対応できるが、地域との繋がりをどうするのかみえない。
 - ・初期の段階では地元との連携をしていくと聞いてきた。
 - ・作る側と地元との温度差、デリケートな部分を考えながら進めるべきだが、行政は早めに事業を進めていくのが重要と考えているので、まち協がつなぎの役割をしていくことが重要だし、出来上がったものにサポートするということもありえる。
 - ・ハードは官が立上げていくが、サポートを住民がするという視点、立ち上げ時期だけ専門家にお願いするとかが重要ではないか。
- あおい地区は、社共の役割を住民に移管されることを前提に事前に理解して取り組んでいくことで実践しているので、参考になる。(事務局)
- ・法人格は儲けが必要、住民が意見を言えるかどうか？やっていることをフォローできることが必要。
 - ・水産加工団地、伝承館、トレイルセンター、サイクルスポーツセンター等との連携で連絡協議会としての住民の役割を果せるかどうかだろう。
 - ・多くの組織が手を出してくることもある。
 - ・各施設のイベントなどを連携するなども必要だろう。
 - ・閑上住民が今後も同取り組んでいくのが重要だ。
 - ・不得手の部分を埋める役割などもしていきたい。
 - ・ばらばらな方向になっていくような気がする。
 - ・ハブとしての役割を持つために、どうするのか議論していくべきだろう。

3) 春祭りの出展について

- ・トレイルセンターの NPO や環境省などが着て説明したらよいと思う。
 - ・公民館とかかわまちテラスのパスなどもあるのか？
 - ・ポケットパークの福笑いはどうか？
 - ・アンケートよりはいいのでは？
 - ・お金と施設の関連を教えて、遊んでもらったほうが良い。
- 公園ゲームみたいなもので、段取りすればいいと思う。(事務局)
- ・ポケットパークをみんなで作ろうという話だろう。
 - ・施設のパスがあっても、説明がまち協はできない。
 - ・展示は絞り込む話だろう。
 - ・パスは張り付けるだけ、将来の閑上にできるものという視点で紹介だけでもいいのでは。
 - ・ベースはそういう方向でいくこととする。

3. その他

- ・通学路の件について、復興部と教育委員会との連携不足は否めない。
- ・豪雨時の親水に心配もあり 11月までの期間が問題である。
- ・事前に教育委員会と復興部の風通しを良くするべき。
- ・大型車交通の多さが心配だし、集団登校など、見守りも必要である。
- ・陸橋も必要？
- ・本設が整備されればいらないので、そこまではどうかと思う。
- ・最善策の展開、T字交差点付近が一番問題である。

・ダンプは危険なので、なんとか接触回避などの取り組みもしていきたい。

・今後、開校までに改善するとは聞いている。

→復興部で確認する。(市)

・ちびっ子丸の移設をどうするか、場所が問題になっている。

・閉上プラザ(学校の南側)に遺構的なものを置く空間となっている。中学の慰霊碑も移転してくる。

・経過を見守ることでよいのでは？

・注意喚起の看板をつくるなどもありえる

・トラックのマナーも悪くなってきている。

・信号機は6月には設置としている。当面は横断歩道だけ、そこが心配だ。

・見守りは学校中心に立ち上がり、その後住民で対応していこう。

・町内会を機能させたいが、公民館が中心になってくれるのを期待する。

→一貫校の入学者増の理由は何？(仙台大専)

・一貫校としての独自のカリキュラムなどの効果もあるようだ。

・地区割りも市域全域が通学なので、増加していると思う。

→まち協の人材育成として、まちづくりの時間を入れるとか、一貫校との連携もありえる。(仙台大専)

<次回世話役会>

・次回世話役会は3月27日(火)とする。

次回予定:世話役会(134)3/27(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室